

第 1 回 瀬戸市教育振興基本計画検討会の結果

開催日時	令和 8 年 6 月 1 9 日（金）午前 1 0 時～午前 1 1 時 5 0 分	
場所	瀬戸市役所 西庁舎 2 階 交流センター	
出席者	委員	伊澤委員長、岡島副委員長、柳田委員、此下委員、加藤（弓）委員、福岡委員、野中委員、加藤（絹）委員、井上委員、八鳥委員
	事務局	加藤教育長、大岩教育部長 【教育政策課】 荻原課長、中川主幹兼管理指導主事、國松専門員兼指導主事、松浦課長補佐、谷山係長、峯藤主任
	関係課	【学校教育課】 松見課長 【図書館】 吉村館長 【コミュニティ推進課】 杉江課長 【スポーツ課】 川合課長補佐
	傍聴者	なし
1 教育長あいさつ ・国や県の計画、および今年度で期間が終わる市の第 6 次総合計画のスケジュールに合わせ、次期瀬戸市教育振興基本計画の策定をお願いしたく、この検討会を立ち上げました。 ・条例改正により教育委員会の事務分野は以前と比べると狭くなっていますが、現在の社会情勢等を考えると大変大きな領域・分野を担当していると自覚しています。 ・社会の変化が大変激しいということで、計画の期間は従来の 10 年から 5 年に変更したいです。 ・現行のアクションプランは細かな事業計画を抱えており、現場に十分浸透しているか疑問に思うところもあるため、今回はもっと現場に十分浸透するレベルで計画を策定したいと考えています。 ・多様な家庭環境に対応するため、基本理念の「すべての親」を「保護者」へと思いを込めて変えたいと思っている。委員からは忌憚のないご意見をいただきながら計画を作り上げていきたいです。 2 委員の紹介 【事務局】 名簿に従って委員を紹介		

3 委員長の選出及び副委員長の指名について

- ・委員の互選により伊澤委員が委員長として選任されました。
- ・伊澤委員長の指名により岡島委員が副委員長として選任されました。

4 議事

(1) 報告事項

○瀬戸市教育振興基本計画検討会の目的、計画概要・策定体制・策定スケジュールについて・・・資料1、資料2、資料3

【事務局から説明】

- ・現行計画からの主な見直しとして、①「実施計画」から「基本理念や方向性を示す計画」へ変更、②計画期間を5年へ変更、③子ども読書活動の推進に関する施策についての計画や生涯学習の方針等の包含、④教育委員会所管分野へ計画範囲を整理、の4点を説明。
- ・今後はパブリックコメントや子どもへのアンケートを通じて幅広い意見を反映し、PDCA サイクルによる進行管理を行う。
- ・今年度は検討会を計4回開催し、年度内の計画承認を目指す。

【委員】

- ・資料中の「青少年教育」などの言葉について、教える側の立場に立った印象を受ける「教育」という言葉よりも、学ぶ立場に立った「学習」や「学び」という言葉を使う方が本計画の趣旨に合っているように思っています（ただし教育という言葉がなくすこともよくないと思っています）。市の将来計画でも「教育（学び）」と書かれているため、本計画を考えていくにあたって、言葉の使い方について検討していただくようにお願いしたいです。

【事務局】

- ・市の次期将来計画の基本構想において「学び」がキーワードとなっているため、そのように表現しています。委員のご発言のとおり、教育だけでなく学びとして作成を進めていきたいと思っています。

【副委員長】

- ・漢字が並んでいるだけだと親しみやすくない感じがするため、学びなどの表現を含めながら「まるっと・せとつ子教育ビジョン」などのサブタイトルを付けると、もうちょっと親しみが湧くのかなと思います。
- ・「子どもの読書活動の推進に関する施策についての計画」について、愛知県の計画では1ページ程度に盛り込まれるにとどまっていますが、子どもの読書はとても大事だと考えています。子どもたちが図書館や読書に親しむ機会を持たせるため、読書に関する項目をもう少し充実した計画にできないかと思っています。

【事務局】

- ・サブタイトルは、つけることができると思います。

【委員長】

- ・読書媒体が変わってきていることもあり、今の大学通い世代の様子を見ても、昔

ながらの図書館の親しみ方が変わってきたところもあると思います。そのようなこともこの場で議論できればいいかなと考えています。

【委員】

- ・ 県の計画策定に携わった立場として、計画の統合・コンパクト化の流れの中で、子どもの読書に関する計画を2ページに集約させた経緯があります。
- ・ 読書で培われる子どもたちの感性は非常に重要な部分があると思うので、現状として漫画は読んでいるが読書はあまりしていないという声も含め、瀬戸市の計画にはもう少し何か書くことができるといいかなと思います。
- ・ 県でもサブタイトルに「学び」の要素を入れるか議論がありました。

(2) 検討事項

○瀬戸市教育振興基本計画2031（案）について・・・資料4、資料5

【事務局から説明】

- ・ 国・県・市の計画や方針を踏まえ、本市の計画の全体像を説明。国（ウェルビーイングなど）や県（主体的な学び、ICT活用など）の動向のほか、市長の方向性（多様な学習機会の提供、挑戦する力の育成、アントレプレナーシップの醸成）を掲載。
- ・ 基本理念は現行を継承しつつ「親」を「保護者」に変更すること、および理念を実現するための5つの基本方針について構成を説明。

【委員長】

- ・ PDCAサイクルが回るように指標を設定しながらまとめたものです。今後の教育のあり方や、それぞれの団体での取り組みなどについてご意見をいただければと思っています。

【委員】

- ・ 学びは一方通行ではなく、教える側も教えられる側から学ぶことがあります。今年度は実施されていませんが「学びキャンパスせと」の「学び合い」という言葉のように、そうした考え方を事業評価や情報発信のときに少しずつ出していくことで、それぞれが学びについての考えを持つようになるんじゃないかなと思いました。

【委員】

- ・ 基本方針1の「情報活用能力の育成」において、①児童生徒の資質・能力の向上と、②教育の充実の差が分かりにくいです。生成AIの使い方などが学校でフィーチャーされていますので、②を「ICTを活用する能力の育成」みたいな書き方の方がいいのかなと思いました。
- ・ 地域との連携（コミュニティ・スクール）について、地元の祇園祭に合わせた浴衣の着付け教室を地域住民が開催してくれるなど、本当に感謝しています。

【事務局】

- ・ 主な取組名は国の情報化推進計画に近い表現としていますが、瀬戸市で今後取り組んでいくことを考え、再度整理します。

【委員】

- ・ 小学校 2 年生が地域について学ぶ授業はとてもいいことだと思っています。地域の歴史などについて、高学年でももう少し深く自発的に学びに行く時間があれば、より深い学びにつながると思いますが、そのような時間は今あるのでしょうか。

【事務局】

- ・ 新設された施設分離型小中一貫校（光陵学園）にて、地域について 9 年間探究的に学ぶ新教科「みらい科」を立ち上げ、低学年でのインプットから高学年での地域への発信（アウトプット）へとつなげる構成にしています。
- ・ 他校でも総合学習で地域を見る時間を設けており、「みらい科」から展開できるものがあれば市内に展開していきたいと考えています。

【委員】

- ・ 現在保護司をしています。若い人の犯罪が増えている現状があり、小中一貫教育をすることによるいじめや犯罪対策への進歩も含め、この辺りを具体的にどうしていくのかなと思いました。
- ・ 学校にクラブ活動がほとんどないため、民間の活動へ入りたくても入れないということもありますので、予算の制約もあると思いますが、もう少し考えていただければと思います。

【委員長】

- ・ 犯罪に手を染めてしまう子は、どこかで学校や地域から外れてしまっていることが多いため、そうなる子どもをいかに減らせるかを計画の中でも念頭に置きながら進めていきたいと思っています。

【委員】

- ・ 市内（特ににじの丘学園）では、対人コミュニケーションを育むソーシャルスキルトレーニングや異学年交流を日常的に行っており、自己表現ができる子どもを育てることで良くない方向へ進むのを防ぐ取り組みをしています。
- ・ 精神の健全育成というニュアンスが大きい「豊かな心と健やかな体の育成（基本方針 1）」の内容は、他と比べると若干多いため、基本方針 2（明日また来たいと思える学校づくりの推進）に移してはどうかと思いました。

【委員】

- ・ 小中学校の図書館が土日祝日に開放される「地域図書館」の仕組みは、全国的にもすごく珍しく、とてもいいことだと言われています。本館の機能分散として、この地域図書館を市民のサポートのためにどう有効活用していくか、現在図書館協議会でもすごく考えているところです。

【図書館長】

- ・ 本館の工事休館を機に地域図書館の利用数が 2～3 倍になっており、市民の方に知っていただく良い機会になっています。今後も 3 つの館（本館・地域図書館・パルティセト）をうまく使いながら機能分散し、瀬戸市全体でサービスを提供していきます。

【委員】

- ・ ハード面の課題として、クラス全員でデザイン作成等の ICT ツールを一斉に使用

すると Wi-Fi の容量不足で端末が固まりやすい状況があるため、+体制整備されるといいと感じています。また、エアコン設置などの予算が厳しくても、ルールの緩和（ネッククーラーの使用など）や、座ることに縛られない学ぶ環境（ソフト面）がもう少し柔らかくなるといいのではと思っています。

- ・情報活用能力は ICT だけに偏らないよう、インターネットだけでなく図書館や人に聞くことも含めた「正しい情報を収集・選別する能力」の観点を入れていただければと思いました。
- ・「アントレプレナーシップ」という言葉は、一般的な市民や現場からすると「起業家を育てたい」と誤解されやすく、過去の事業でも集客に苦戦した経験があるため、挑戦やチャレンジ精神といった現場が咀嚼しやすい言葉に変えた方が現場に浸透していくのではないかと感じています。また、失敗してもう 1 回チャレンジできるような「時間的な余白」も中身に入れてほしいです。

【委員長】

- ・アントレプレナーシップは起業だけでなく、自分で新しい気づきを見つける能動性を指していると思うので、「瀬戸らしさ」という観点を入れていけばどうかと思います。

【委員】

- ・PTA のアンケートからも、従来の「タブレットが重い」「紙とデジタルの併用」といったものから、一步進んで「ICT を活用してどのような教育ができるか」という前向きな議論が出始めています。
- ・探究やアントレプレナーシップには「好奇心」が不可欠であり、先生の仕事を圧縮して余力をつくりつつ、AI をうまく使いながら自分の立場に置き換えた学びに変えるような仕掛け（ビブリオバトルなどの活用）があるとよいと思います。また、基本理念の「瀬戸で学んでよかった」とは具体的にどのような状態を指すのか、議論があれば教えてほしいです。

【委員長】

- ・読書習慣は、親が本を読む姿などの家庭環境と非常に強い相関関係があるとされています。
- ・「瀬戸で学んでよかった」については、自身の経験から、瀬戸は自然・文化・産業など多面的なまちであり、学びの対象になるものが豊富にあるため、よかったなと子どもに思ってもらいたいと感じています。

【副委員長】

- ・「3 つのよかった」は郷土愛や瀬戸を好きという気持ちを育む素晴らしい言葉であり、それを具体化する仕掛けが具体的に見える記述を随所に散りばめてほしいです。
- ・基本方針 2 の「明日また来たいと思える学校」だけが親しみやすい表現で他が堅いため、計画全体をもう少し分かりやすくするか、あるいは「明日また来たい！」とビックリマークをつけるなど、心に落ちる工夫をしてはどうかと思います。
- ・少子化による高校再編・統合が進む中で、小中学校で育った子どもたちが地元

残って活躍し、一度外へ出てもまた瀬戸に戻ってきたくなるようなことにつながる基本理念だと感じました。

○子どもからの意見聴取について・・・資料6

【事務局から説明】

- ・瀬戸市子どもの権利条例に基づき、大人のパブリックコメントとは別に、子どもたちが主体的に意見を表明する機会として Web アンケートを 6 月後半～7 月に実施する。
- ・対象は市内 7 ブロックから抽出した小 6・中 3・特別支援学校の計 880 人程度とし、回答の負荷やプライバシーに配慮しつつ自由記述式（4 問）で行う。

【委員】

- ・学校で一斉に Web アンケートを調査する際、先生やクラスメイトと同じ場所で、安心して本音を答えられるか、プライバシー保護の面で心配しています。

【事務局】

- ・アンケートは完全無記名であり、個人特定情報は収集しません。また答えたくない質問には回答しなくてよいとし、日常の他のアンケートと同様に、落ち着いた環境で一斉に実施できるよう配慮を依頼します。

【委員】

- ・すべて自由記述にすることは子どもにとって回答負荷が高く、私の息子も「特に意見はない」と言っていました。広く知りたい場合は、選択式のアンケートと自由記述でないかと後で困るのではないのでしょうか。

【事務局】

- ・今後どこに力を入れていくのかを判断するため、子どもたちが主体的に意見を持ち寄ってくれる機会を重視しています。意見が出なかった場合も含めて、振り返りの材料としたいと考えています。

【委員】

- ・設問にある「読書はした方がよいと思いますか、しなくてもよいと思いますか」という質問は少し表現がきつく、読書に親しむことにつながらないと思います。

【委員長】

- ・良し悪しだと良い方をみんな選んでしまい意味ある回答にならないため、「読書をした方がよいが、あまり好きにならないのはなぜか」といった、行動パターンの背景や理由を書いてもらう方が子どもの問題把握になるのではないかと思います。

【委員】

- ・県でも議論を経てこの質問になりましたが、自由記述にしたことで「こんな思いでいるんだ」という発見もたくさんありました。全国的な傾向は選択式で把握できているため、生の声を取り入れるのが望ましいと思います。

【委員】

- ・前に勤めていたところでアンケートを取った時は、本を読みたい、だけど時間がない、本を薦められたら読むというような結果が出ました。今はやっていないと

と思いますが、朝の１０分読書を実施して時間を確保したりとか、そういうことが回答できるようにしたほうがいいと思います。

【委員長】

- ・実施時期が迫っているが、事務局は今日の意見をどこまで反映できるかぜひ検討してほしい。

５ その他

- ・次回検討会の日程について
日時：８月４日（火）午前１０時００分～
場所：瀬戸市役所 ４階 大会議室